

「わたしのいえちょきんばこ」

箕島小学校 1年 丸山 咲笑



いえのちょきんばこをつくりました。えんとつをつくったり，フェルトでおはなもつけました。おかねをだすところをけいとでくふうしました。

「ロボット」

箕島小学校 1年 松本 玲音



頭、体、腕、足と、1つ1つがんばって作りました。

「ドラゴンがんばれ」

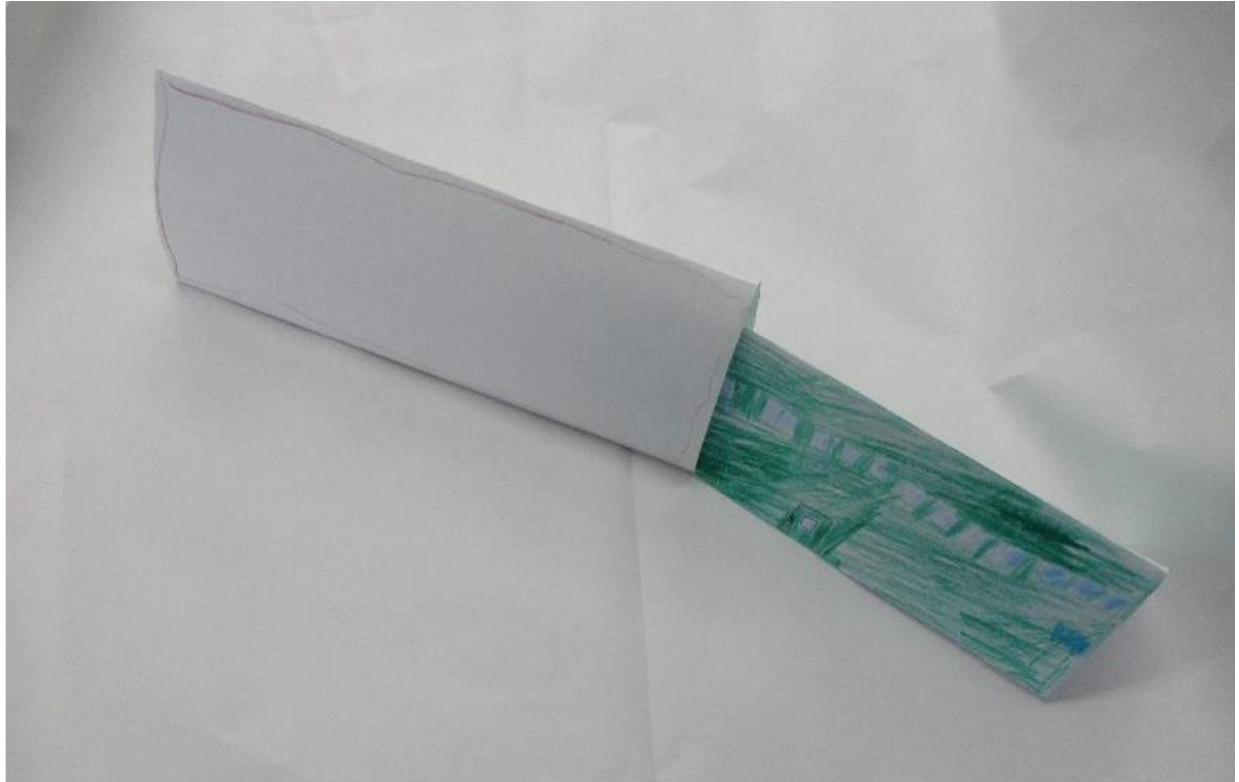
箕島小学校 1年 松本 玲音



手形を押したり，筆を使って描きました。ドラゴン同士が戦っているのを真ん中にいる人が応援している絵です。

「はやぶさ」

箕島小学校 1年 吉村 空



紙を折って立てたら、電車に見えました。どんな電車があるのか分からなかったなので、電車が好きな友だちに聞きました。友だちに電車の図鑑を教えてもらい、色がかっこよかったはやぶさにしました。三角のトンネルの中には、線路もかいています。

「金ざんざいほう」

箕島小学校 2年 岡野 幹大



ドライバーでねじをとめたり、木ざいをのこぎりで切ったりして作りました。

「いろいろな色の車」

箕島小学校 2年 高野 瑛人



紙ねん土をならすのがたいへんでした。ぎゅうにゆうパックのまわりに紙ねん土をつけて、色をぬりました。

「手洗いが楽しくなる石けん」

箕島小学校 3年 内田 華姫



コロナの予ぼうで、手を洗うことが多いから、楽しく手を洗えるように石けんを作ろうと思いました。

「見たら幸せになれる花」

箕島小学校 4年 中村 優月



花びらや花の中を虹色にして、見た人が幸せな気持ちになるようなまぼろしの花を考えました。花が明るく輝くように背景は白色でいいにぬりました。

「カラフルボタンポーチ」

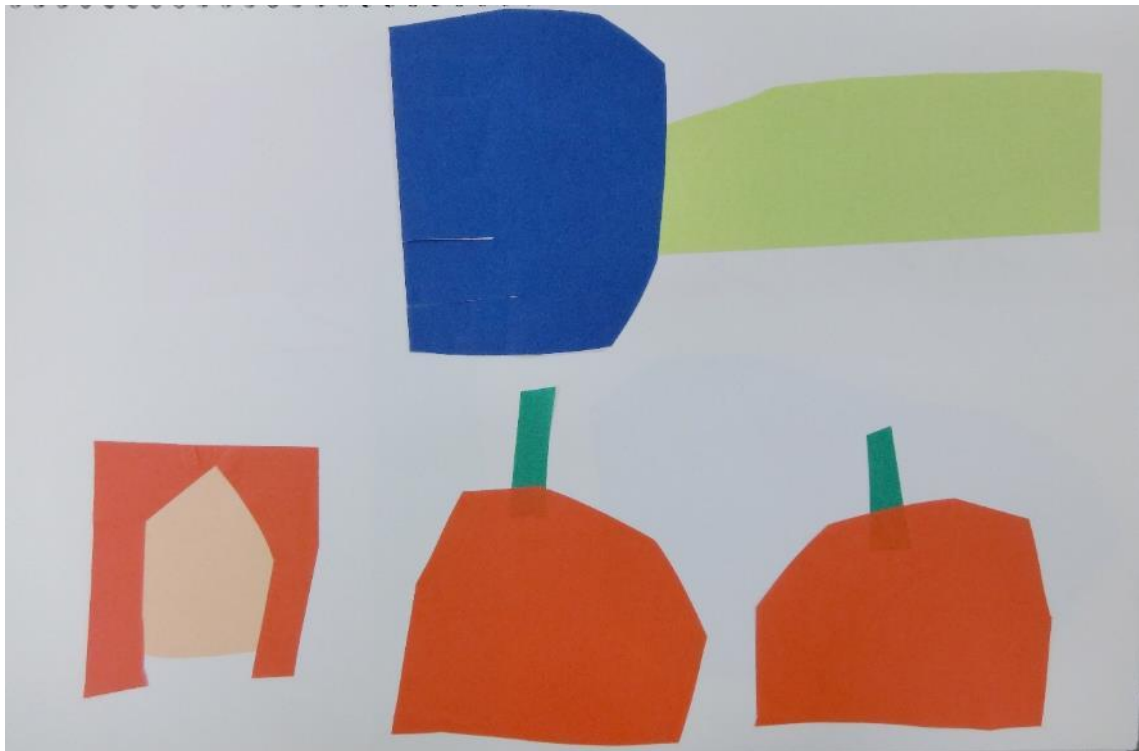
箕島小学校 5年 佐藤 璃子



家庭科で学習した、かがりぬいやボタン付け、なみぬいをしてきれいに仕上げることができました。フェルトの色の組み合わせを考えて作りました。また、ファスナーをつけることもがんばりました。

「切り絵に挑戦」

箕島小学校 5年 藤原 爽真



夏休みに切り絵に挑戦しました。りんごや掃除機など自分の好きなものを集めました。

「ピアノの音が変わる理由を調べよう」

箕島小学校 6年 黒田 悠成

ピアノの音が変わる理由を調べよう。黒田 悠成

ピアノは低音と高音の音を出す。音が変るのは、げんの太さと長さから決まる。

結果
ピアノの音が変わるのは、げんの太さと長さから決まる。

||弱音ペダル

低音 グランドピアノ 高音

げんも垂直にしている。

アップライトピアノ

げん

ハンマー

ハンマーアクションが右にずれたと、げんの太さがなり、音が大きくなる。音色も変わる。

ソフトペダル

ハンマーとげんのあいだに、フェルトの幕がある。

マフラーペダル

||おもしろいピアノの話

ピアノの前どんな楽器がつけられていたでしょう。それはチェンバロです。すごく昔の話なので、初めのチェンバロがいつ生まれたかはいろいろな説がありますが、14世紀ごろです。その時はまだピアノが生まれますが、ピアノというのは実は四角い箱の楽器で、本当の名前は「ラウヴチェンバロ・ピアノ」です。この「ピアノ」はイタリア語で「小さい音も大きい音も出すことのできるチェンバロ」という意味です。チェンバロはハンマーという部品がついていて、おもしろいのは、ハンマーの仲間でもなく音はぜんぜんちがいます。強弱がつけられません。だから、そのままだとピアノには感動したのかもしれない。おもしろい楽器だ。音楽発表会などで決まらぬ自分の楽器のルーツを調べるのもいいかもしれない。

ぼくは、小学校2年生のころからピアノを習っています。相棒のピアノの仕組みを知りたくて調べました。調べてみると、思っていたよりも複雑な構造になっていることがわかりました。これからも、相棒のピアノを大事にしていきます。